

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

社是

「Don't Stop」を社是とし、カスタマーファースト、イノベーション、バリューアップ、コンプライアンスの実現に向け継続的に取り組む

2 中長期の経営戦略

1. 店頭デリバティブ取引の基軸化

外国為替証拠金取引をコアビジネスとし、経営資源を集中投下。法令遵守と競争優位性確立に向け商品性向上、ツール洗練化、新サービス提案を継続的に実施

3. 取引システムの強化

増加する取引量に対応した処理能力増強、基幹システム大規模更新、事業継続計画確立により安定稼働を図る

2. 新規商品領域の拡充

商品デリバティブ取引、暗号資産関連デリバティブ取引（CFD）サービスを拡充。外国為替証拠金取引に次ぐ収益事業の確立を目指す

4. 顧客基盤の拡大

業界最狭水準のスプレッド提示、商品性洗練化で競争力強化。既存顧客への新取引機会提供と新規顧客獲得で収益力強化

3 対処すべき課題

① ブランドロイヤリティの確立

- ・ スプレッド・スワップポイント競争力強化
- ・ 取引端末のマルチチャネル化とスマホ対応強化
- ・ コールセンター業務のクオリティアップ

② システム安定稼働の確保

- ・ 外国為替証拠金取引は100%オンラインシステム
- ・ 適切なキャパシティプランニングに基づく継続的改良・増強
- ・ 災害・大規模障害に備える事業継続計画確立

③ コンプライアンス態勢確立

- ・ 金融商品取引法等関連法令への準拠
- ・ 顧客適合性の厳格審査と十分な説明
- ・ 不招請勧誘・断定的判断提供の禁止徹底

面接で使えるポイント

- ・ 外国為替証拠金取引をコアビジネスとしながら、暗号資産関連デリバティブ取引（CFD）など新規領域に経営資源を投下し…
- ・ 店頭デリバティブ取引が100%オンラインシステムであるため、増加する取引量に対応したシステム増強と災害対応が重要課題
- ・ ハイリスク・ハイリターン型金融商品を扱う企業として、コンプライアンス基本方針とガイドラインに基づき厳格な態勢構築に注力

EDINETコード E03747

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに

当社及び連結子会社2社で構成されており、主としてインターネットを通じた外国為替証

主力事業・セグメント

・証券、商品先物取引業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・営業利益率101.3%と高い収益性

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
11億円営業利益率
101.3%財務健康度
16点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 50.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
742万円平均年齢
46.1歳平均勤続
8.7年

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

